2026.11

Q.

名古屋市で働いている外国人です。職場は名古屋ですが、名古屋市外に住んでいます。
9月の大雨の時に電車が止まって、家に帰れなくなり、とても困りました。
大雨や台風などの災害が起きたとき、どのように情報を集め、どこに避難すればよいですか？

A.

6月から10月は大雨や台風が多い時期です。
災害の情報は、まず、国（気象庁：*Kishōchō*）から危険のレベルを知らせる警報や注意報が出ます。その情報をもとに、市町村（名古屋市）が実際の避難指示などを出します。
名古屋市から避難の指示が出ていなくても、危険を感じたら自分の考えで早めに安全な場所へ逃げましょう。
そのためには、**災害が起きる前に、情報の集め方と避難場所を確認しておくことが大切です。**
自宅にいるときだけでなく、職場にいるときや、家に帰れなくなったときのことも考えて準備しましょう。

1. 警戒レベルと取るべき行動について：災害の危険度は、5段階の「警戒レベル」で知らされます。

警戒レベル	気象庁（国）が出す情報	名古屋市が出す避難情報	あなたが取るべき行動
レベル 1	早期注意情報	なし	最新の情報に注意するなど、災害への気持ちを高める。
レベル 2	注意報	なし	ハザードマップなどで、災害が起きると考えられている場所、避難先や避難する道を確認する。
レベル 3	**警報**	**高齢者等避難**	お年寄りや障害のある人など、避難に時間がかかる人と、その人を助ける人は避難する。 **言葉や避難方法に不安がある外国人は、このタイミングで安全な場所に逃げる。**
レベル 4	**危険警報**	**避難指示**	**危険な場所にいる人は全員避難する。** **★★★「レベル4」までに必ず逃げる！★★★**
レベル 5	**特別警報**	**緊急安全確保**	命の危険があるため、すぐに安全な場所に逃げる！ すでに災害が起きている可能性があり、命が危険な状況。今いる場所よりも少しでも安全な場所へ避難する。

9月の大雨の時には、名古屋市から上の表にある警戒レベル3、4、5が出されました。
また、名古屋市営地下鉄やバスなど公共の交通機関が次々に止まり、多くの人が家に帰れなくなったため、名古屋市は名古屋駅の周辺などに17か所の退避施設を開設し、およそ1400人がその施設を使いました。

このように、災害が起きたとき、どこが安全で、どこへ避難すればよいかなどを確認するために、以下を参考にしてください。

2. 災害に関する情報を集める：

＜災害が起きた時に確認できる情報＞

●大雨や洪水による災害の危険が、どこで、どのレベルで来るかを地図で見て知る

【気象庁 キキクル（土砂・浸水・洪水の災害が対象）】 → https://qr.paps.jp/5GRfB

●名古屋市にどんな警戒レベルが出されているかを確認する

【名古屋市 公式WEB サイト】 → https://www.city.nagoya.jp/

大きな災害があったと時は、名古屋市の公式WEB サイトのトップページに災害情報が出ます。

●家に帰ることができなくなったとき、一時的に避難できる場所を探す

【名古屋市 帰宅困難者退避場所マップ】 → https://qr.paps.jp/2hoZu

名古屋市内の「一時退避場所」と「退避施設」の位置や、どこが空いているかを確認できます。

※これらの施設は、建物が安全だと確認できた後に開きます。状況によっては、使えないこともあります。

※これらの施設は、施設の管理者などの親切で使わせてくれている場所です。施設の中で自分の安全を守ることは、利用者が自分で行うことが基本です。

★ポイント★ 災害時の避難先について ～“退避（*Taihi*）”と“避難（*Hinan*）”の違い～

【退避（*Taihi*）】

・一時退避場所（*Ichiji Taihi Basho*）：大きな災害が起きたとき、建物の安全が確認できるまで、一時的に待つことができる場所です。

・退避施設（*Taihi Shisetsu*）：大きな災害が起きて、家に帰れなくなった時、一時的に滞在することができる場所です。名古屋市の退避施設では、災害が起きてから最長24時間まで過ごすことができます。名古屋国際センターのホールも退避施設の1つです。

【避難（*Hinan*）】

・避難場所（*Hinan Basho*）：大きな災害が起きたとき、命を守るためにまず急いで逃げる必要がある時に避難できる場所です。

・避難所（*Hinanjo*）：大きな災害が起きて、自分の家に帰ることができなかったり、住むことができなくなったとき、一定期間生活を送ることができる（寝泊まりできる）場所です。

※避難場所、避難所がどこにあるかは、以下の名古屋市の HP（日本語）で確認してください。

https://www.city.nagoya.jp/bousaiportal/hinan/1013390/1013492.html

＜災害が起きる前に確認できる情報＞

災害が起きる前に、自宅や職場の地域のハザードマップや、災害時に使えるツールなどを確認しておきましょう。

【名古屋市 防災・危機管理（防災ポータル）】→ https://www.city.nagoya.jp/bousaiportal/index.html

【名古屋市 外国人向け防災情報】→ https://www.city.nagoya.jp/bousaiportal/international/index.html

【名古屋国際センター 災害情報関連リンク（英語）】 → https://www.nic-nagoya.or.jp/en/saigai/

（各言語の HP でそれぞれの言葉で読めます）

【防災庁 災害時に便利なアプリと WEB サイト（多言語）】→ https://qr.paps.jp/BgY1C